

み

9/23

みんなで守ろう交通ルール

シルバー人材センター会員による交通安全啓発活動

秋の交通安全町民運動期間に合わせて、町シルバー人材センターの会員による交通安全の街頭啓発活動が実施されました。9月末までに、県内で交通事故により、亡くなった人の半数以上は高齢者です。活動中のシルバー人材センターの皆さんのように、明るい服装であれば、夕暮れ時でも発見がしやすくなります。

防災安全課でも、反射バンドや反射タスキを配布していますので、交通安全対策にぜひお役立てください。



↑相見交差点付近にて交通マナーの呼び掛けを実施！



↑反射バンドなど交通安全用品を配布中です

み

10/3

みんなで楽しめる スロースポーツ

やろまいペタンク大会

中央公園でペタンク大会を開催しました。ペタンクとは、フランス発祥の球技でどなたでも気軽にできるスポーツです。参加チーム数は29チームで87人が参加しました。投げたボールがビュット*の近くに止まるとガッツポーズ、思うようなところに転がらないと悔しがる参加者たち。結果は岩堀老人クラブAが見事優勝。コロナ禍でも感染症対策をしながら行うスポーツ大会をみんなで楽しんでいました。

*最初に投げて的となるボール



↑ペタンクボールを投げてビュットの近くに止まった

思

10/11

いをはせるひととき

島原市・幸田町姉妹都市提携3周年記念事業

本年度で、長崎県島原市と町が姉妹都市提携をして3周年となることを記念して、記念事業を開催しました。歴史学者の山内昌之氏には「家康を支えた三河武士」という題目で講演を、講演師の神田京子氏には島原市と町の交流の歴史を講演で披露していただきました。また、島原市長の古川隆三郎氏よりビデオメッセージもいただき、姉妹都市島原市に思いをはせるひとときとなりました。



↑迫力ある語り口で多くの観客を魅了する神田氏



↑深溝松平の歴史を踏まえて講話する山内氏



自

10/13

分で収穫するお米

幸田小学校 稲刈り体験

大草地内の田んぼで5年生を対象に稲刈り体験授業が行われました。昔ながらの手作業での稲刈りで、慣れない手つきではあるものの一生懸命刈っていました。児童たちは「稲刈りは難しくてお米を作る大変さがわかった」と教えてくれました。体験をした後は、機械による稲刈りを見学しました。昔ながらの手法と現代の手法の違いを肌で感じることで、田の多い町ならではの実りの秋にふさわしい体験授業となりました。



↑鎌を上手にを使って稲を刈る児童

大

10/20

規模災害に備えて

災害時における相互応援協定



↑左：安堵町長 西本安博氏

町と奈良県^{あんぶちょう}安堵町との間で、いずれかの町域において、大規模な災害などが発生した場合、相互の応援による応急対策や復旧対策にかかる措置などを行うための協定を締結しました。応援内容は、お互いに必要な食料や資機材、車両などの提供、職員の派遣などです。

安堵町とは、本町の菱池遊水地事業の推進にあたり、奈良県大和川流域の安堵町窪田地区に整備される遊水地事業を視察したことから親交が始まり、双方の過去の河川災害に関する情報交換などをきっかけに相互応援協定締結への運びとなりました。

両町長は、災害時には素早く応援に駆け付けることを確認しました。

も

10/21

ったいないをありがとうへ

フードドライブin 幸田町役場

役場の正面玄関前で午前9時から正午までの間、フードドライブを開催しました。フードドライブとは、家庭で余っている食べきれない食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。この日は16人が訪れ、缶詰、乾物、お菓子など全部で158点59.7kgもの食品を寄付いただきました。寄付いただいた食品は、社会福祉法人愛恵協会を通じて町内で必要としている人へ届けられます。

本年度は、12月16日(※)にも同じ場所と時間帯で開催しますので、ぜひご協力をお願いします。



↑たくさんの寄付をいただき、ありがとうございました